

中央動物専門学校 学校評価概要

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を教授できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。
実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

(1)自己評価

平成29年度の学校運営について、学校の教職員が、学校の理念・目標に照らして自らの教育活動について評価を行う。

(2)学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

2. 組織

(1)自己評価委員会

委員長：佐藤 洋子	教務部長・広報室長（兼務）
副委員長：佐久間恵子	事務室係長
委員：渡来 純如	教員室長
齊藤 利章	動物管理室長
関野 格至	事務室長
大塚 達史	教員室教務主幹
野村 繁雄	広報室事務主幹
大津賢太郎	教員室主任
天野 雅弘	教員室主任
臼井 明子	教員室主任
本郷 奈美	動物管理室主任
原 太一	広報室係長

(2)学校関係者評価委員会

委員：大野 公嗣	全日本動物専門教育協会 事務局長
河野昭一郎	東田端まちづくり協議会 副会長
柿原 正吾	中央動物専門学校 卒業生
高野須一樹	保護者
小山田千秋	株式会社スタンダード 取締役
伊澤 伸元	鳥と小動物の病院 falconest 院長
鹿野 正顕	株式会社アニマルライフソリューションズ 代表取締役

(敬称略・順不同)

委員任期を平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日とする。

3. 評価要領

(1)自己評価

平成 29 年度の学校運営について、各部署において作成された業務分掌に基づき、自己評価委員会が自己評価書（別紙参照）を作成する。

ア. スケジュール

4 月 2 日（月）～28 日（金）	各部署にて自己評価書作成
5 月 1 日（月）～18 日（金）	自己評価委員会による評価
5 月 21 日（月）～31 日（木）	自己評価書 作成
6 月 月上旬	自己評価書 学校ホームページにて公開

イ. 評価項目

(ア)教育理念・目的・育成人材像

- ①理念・目的・育成人材像は定められているか
- ②学校における職業教育の特色は何か
- ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか

(イ)学校運営

- ①目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ②学則・細則・内規等は整備されているか
- ③業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ④教育活動に関する情報公開が適切になされているか
- ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(ウ)教育活動

- ①各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ②カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか
- ③授業評価の実施体制はあるか
- ④資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ⑤成績評価の基準は明確になっているか
- ⑥教員資質向上のための研修が行われているか

(エ)教育成果

- ①就職率の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか
- ③退学率の低減が図られているか
- ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(オ)学生支援

- ①進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか
- ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者と適切に連携しているか

(カ)教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ③防災に対する体制は整備されているか

(キ)学生の募集と受け入れ

- ①学生募集活動は、適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか
- ④学納金は妥当なものとなっているか

(ク)財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ③財務について会計監査が適正に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

(ケ)法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- ④自己評価結果を公開しているか

(コ)社会貢献・地域貢献

- ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

(サ)国際交流(留学生)

- ①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか
- ②留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか
- ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

(2)学校関係者評価

自己評価書を学校関係者評価委員に配布し確認を依頼する。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について評価し、評価書を作成する。会議の進行及び必要な事務は学校が行うが、学校関係者評価委員の中から主査を選任し、自己評価結果に対する公正な評価に努める。

ア. スケジュール

平成30年9月13日（木） 学校関係者評価委員会 開催

イ. 評価項目

評価項目（評価の観点）は次による。

- ・ 自己評価の内容が適切かどうか
- ・ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・ 学校の重点項目や具体的方策が適切かどうか
- ・ 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

ウ. 評価公表

学校関係者評価委員会がまとめた学校関係者評価書を、学校ホームページなど適切な方法で外部に公開する。

以上